（1） 昭和42年11月15日発行 第4[illegible]8号 453 旬刊とかち新聞 昭和32年5月27日第三種郵便物認可

とかち新聞
主筆 松山明
（発行所）北海道足寄郡足寄町 とかち新聞社 電話351番
定価 1部20円 1カ月50円 1カ年前納500円

役場敷地問題

訴訟に發展か

高橋氏 交換地再評価の鑑定を依頼

高橋前町長から小林現町長に引きつがれた足寄町の当面の難問題がなにひとつ解決されないこんにち、そのなかでも前町長個人の利害がからんだ役場庁舎の敷地問題がいよいよ複雑微妙な様相を呈しています。

十一月十四日から十五日にかけて北海道工地株式会社の不動産鑑定士補杉本邦雄氏（さきほど町有地と佐々木正路氏所有地との交換の評価鑑定にあたつた人）が来町して役場敷地とその交換地の庄内沢町有林を調査しました。

これは高橋安蔵氏の代理人海老名利一弁護士の依頼によつて来町したもので双方の財産価値を現時点で評価して双方にどれだけのヒラキがあるかを鑑定し、その結果を根拠にして高橋氏が町に差額を要求することになります。

なにしろ六年前にすでに役場地つづきの足寄郵便局の用地が一坪三万一千五百円だつた実例があるだけに百町歩の山とはいえ価格では相当のヒラキがあろうというもので、調査に来町の杉山氏はイヤな役目をこぼしていました。

町としてはこの問題については高橋氏が議長席にあつた昭和三十一年の町議会において等価交換が議決されたから建てた庁舎であり、ことしの春まで町長だつた高橋氏は終始一貫その議決どおりに交換を実行することを言明していたことでもあり、いまになつて差額をほしい、賃貸料を支払えといわれても応ずるわけにはいかないようです。

町議会としても昨年はこの問題を総務委員会に付託して調査した結果「議決どおりに交換」との結論を出しており、その審議に参加した議員が十六名、町村合併当時の議決に参与した議員が二名で計十八議員の絶対過半数が議席を占めている現在、既定方針どおりにことをすすめるのが筋で、高橋氏の新たな要求を認めるわけにはいかないようです。

しかし高橋氏としては相当な経費をかけて弁護士に依頼し再評価作業に入つており、簡単に手を引くものとはみられず町側がこの要求を認めなければいきおい前町長が現町長を相手どり「交換契約無効確認、賃貸料請求」などの民事訴訟に発展するのではないかとみられています。

その上議会内には依然として六、七名の高橋氏支持派議員がいてこの動きをバック・アップしているともいわれ、町長選のシコリもからんで難問題に輪をかける傾向もみられ、足寄町にとつてはさらに頭の痛い問題となつています。

佐藤さんのお土産

（…沖縄返還を主要な課題としてジョンソン米大統領と交渉にあたつた佐藤首相が二十日に帰国しました。

○…日米共同声明の全文は二百八十九行の長文ですが、そのなかで沖縄に関する部分はわずかに四十六行。

○…それも佐藤首相が『国民の強い要望を強調し……ここ両三年内に……返還の時期につき合意すべきであることを強調した』のにたいして大統領は〝両三年内〟という言葉は使わないで『……沖縄の地位について共同かつ継続的な検討をおこなうことに同意した』というものです。

○…佐藤政府と自民党はこの日米会談がさも大成功であつたかのように自画自賛していますが、当の沖縄ではこの結果にたいして二十日夜に五十団体、十一万人による抗議県民大会がひらかれて佐藤内閣総辞職要求を決議しました。

○…鳴りもの入りの佐藤訪米でしたが、沖縄問題は全くのさしみのツマでしかなかつたことで、共同声明の大部分を占める佐藤首相の約束は㊀東南アジア諸国への援助㊁中国にたいする敵視政策㊂米国のベトナム戦争の支持㊃日米安保体制の堅持㊄日米貿易金融関係の拡大㊅日米原子力協定の受け入れ等々であつて首相に同行した「北海道新聞」の土井記者が『会談の結果は首相が押し切られた形で米国のベトナム政策を支持することになつた』と報じているばかりでなく、「ニューヨーク・タイムズ」ですら『佐藤訪米で成果はなく、ベトナム政策支持はゆきすぎである』との社説をかかげているほどで、首相のお土産がどんなものであるかずばりいいきようというもの。

魚菜市場

設置期成会が発足

足寄町に魚菜卸売市場を設置しようと促進期成会が十一月十八日に足寄町公民館で結成総会をひらきました。

あつまつたのは町、町議会、商工会、魚菜業者、一般消費者代表など三十名で、発起人代表の久保正夫商工会長のあいさつにつづいて前田利英同専務から町にたいする陳情書が朗読され、これにたいして小林町長からあいさつがあ

前田専務から経過報告があつて意見交換の上規約を決定しました。

久保正夫氏 三十四年からの運動の強化のためここに促進成会を設けたい、足寄は本別、陸別にはさまり、白糠線、小樽—北見間の弾丸道路の分岐点として益々発展途上にあり、足寄だけでも人口二万人に陸別もあり、ここまできて本別の市場に依存していてはダメだと思う

小林町長 議会においても強力な要請があつた、私も町に市場の必要性を認め強力にこの運動を後援してゆきたい

横山喜三郎氏 道の意向もあり実現するかどうか

久保正夫氏 こんど道は市場の統合をねらつてはいるが、いくら道路が整備されても現状からみて全町民の要請があれば実現は可能である

加藤七郎氏 現在、本別の市場だけでは利用者が多いので、前は十時ごろおわつたがいまでは十二時ごろまでかかるのがしばしばで、これでは我々利用者も消費者も迷惑は多大で足寄市場の設置は足寄、陸別町民全部の希望である

鳴海一郎氏 道の意向よりも地元において必要性を認めて全町民の強力な要請があれば道としても無視できない筈だ、本別の市場としてはこの運動を阻止しようとしているようだが、少しも早く全町民一丸となつてこの運動をすすめるべきだ

斉藤昇氏 前回の議会において全員一致で決まり、町長の決意をきき、全町民の要望も切なるものがある、全町民一丸となつて市場設置にすすんでゆかなければならない

などの発言があつてつぎの役員を選び、事務所を商工会内において強力な運動を展開することになりました。

△会長 久保正夫△副会長 鳴海一郎、加藤七郎△理事 斉藤祐一、遠山謙、両角章、鈴木浩充、松崎然治、平野清、所勇、富樫幸三郎、菅崎静、網頭ハル、松崎稔、横山喜三郎△監事 前寺忠三郎、大塚正夫

ハミリー カメラ 写真材料
上野カメラ堂
上野復興
足寄駅通り T420

急募
整備工及び見習 三名
ヤマハオートバイ特約代理店
渡辺モータース
足寄町駅通り 電話一四九番

家具と建材のデパート
新店舗落成！
あなたの快的で豊かな住いと暮しのためにご用命をお待ちいたします！
佐藤家具建材店
足寄駅前 電話221番

盛況御礼
第八回京呉服
あたたかい皆様のお引立によりまして予期以上のお買上げを頂きましてありがとうございました。
引き続きまして京都へ参り次の呉服の手合せをして来月初旬に開催いたしますのでご期待下さい。
株式会社 前田呉服店
足寄駅前 電話二二一番